

Chromebook を活用したプレゼンテーション  
(NEW HORIZON English Course 1 Unit6 A Speech about My Brother)

- ①話・発 ②個・学 ②評価 ③タブ ④ロイロノート

【ここがポイント！】

- ①「自己調整学習」  
単元の目標を踏まえて、生徒が自分で学習計画を立て、自分の考えた「ゴールの姿」を目指して言語活動に取り組む。さらに、振り返りを基に計画を修正しながら「ゴールの姿」の達成を目指す。
- ②「ロイロノート、思考ツールの活用」  
「ALTに紹介したい自分の身近な人」についての情報を収集し、思考ツールを使って伝える情報を分類する。また、まとまりのある文のイメージを定着させるためにロイロノートのカードを使って、まとまりのある文を作るという言語活動を設定する。
- ③「振り返りの充実と全体での課題解決」  
振り返りに「みんなで解決したいこと」を記述させ、全体で共有して解決させる。また、動画の自己評価を行い、パフォーマンスを改善する。

【実践の目標】

自分の身近な人のことを知ってもらうために、人物の魅力が伝わるよう、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して、簡単な語句や文を用いて伝えることができる。

【実際の場面】

1. 単元目標を共有し、単元のゴールの姿をイメージして単元の学習計画を立てる  
単元目標や単元の評価基準を踏まえて、自分のゴールの姿をイメージし、単元の学習計画を立てる。

- ①自分で英文を書く 単語や紹介する人物について調べ
- ②英文を改善する 教科書本文から使える表現を取り出す
- ③自分で英文を書く 詳しくする 語彙広げる
- ④英文を完成させる 一人で練習する
- ⑤動画を撮って改善する
- ⑥ペアで練習する

2. 人物紹介の情報を整理し、まとまりのある英文を作成する  
教科書本文の人物についての情報をロイロノートの「Xチャート」を使って整理した。また、ロイロノートのカードを使って、英語で紹介するためにまとまりのある英文を作った。



3. 紹介したい人物についての情報を整理する  
自分の身近な人について集めた情報をロイロノートの思考ツール、「Xチャート」を使って整理した。足りない情報は調べて付け加えた。

4. 整理した情報を基に書く  
整理した情報を基に、身近な人を紹介するための紹介メモを作成する。

5. ペアでの交流と全体共有  
作成した紹介メモをペアで交流し改善点を見つける。また、「みんなで解決したいこと」を全体で共有し、まとまりのある英文にするにはどうすればよいか考える。

6. ペアで発表の練習  
自分で立てた学習計画に基づき、ペアで発表練習をしたり、個人で動画撮影をしたりして自らのパフォーマンスを確認し、パフォーマンスを改善した。

7. パフォーマンステストと振り返り  
身近な人についてALTに紹介し、その様子を動画撮影し評価した。その後、単元の振り返りをした。

【成果と課題】

【成果】  
○ロイロノートのカードを使って繰り返しまとまりのある文を作成することで、まとまりのある文のイメージをもつことができた。  
○思考ツールを使うことで情報を整理・分析することができ、まとまりのある文を作ることができた。  
○ロイロノートを使うことで生徒が作成した紹介メモをすぐに共有することができ、全体でよりまとまりのある文を考えることができた。  
○自分で学習計画を立てて、調整しながら学習を進めることで学びに向かう力を高めることができた。

【課題】  
○生徒とやり取りしながらルーブリックを作成することで、生徒自身が自分の学びを把握することができ、そのことで、生徒がより主体的に学習に取り組むことができるようにする。  
○生徒が自己の学びをICT端末で振り返り、活かせるような手立てが必要である。

